

ハンドボールの話をしよう。高校時代に仲の良かった友だちがハンドボール部の主将だったので、練習を見に行ったり、試合の応援に行くことがあった。「空中でもらってから着地は0歩、そこから3歩まで歩ける」というルールのおかげで歩きまわっているという印象が強い▼他の球技と違って、1人がボールを保持できる時間が短く、攻守も目まぐるしくかわるので、スピード感溢れる▼桑員地区には、ハンドボール部女子が少ないので、本日の試合は、「伝統の一戦」のようだ。しかも、本校ハンドボール部女子は、部員も少なく、3年生が2名しかいないと聞いた。この場をお借りして宣伝したいぐらいだ▼試合は、一進一退を繰り返すシーソーゲーム。見どころは、攻守が入れ替わる瞬間からの速攻。ポストシュート、サイドシュート。そしてそれを止めるキーパー。多彩なシュートとその攻防が見どころ。バスケットにもサッカーにも共通することだが、最後に誰がフリーになるのか、だれが、スペースに入り込むのか。ゲームの組み立てが勝負の分かれ道▼ラスト数分のところで、大中が、マンツーマンディフェンスに切り替えた場面があった。個人的には、あの場面の子供たちの動きが一番痺れた。カッコよかった。最後まで勝負をあきらめない動きだ▼結果は惜敗だったが、最後まで北中を追い詰めた。自分たちのハンドができた。